

令和4年度 外国語科「英語コミュニケーションⅠ」シラバス

| | | | |
|-----|-------------------------------------|----------|---|
| 単位数 | 3単位 | 学科・学年・学級 | 普通科 1年 1～6組 |
| 教科書 | Grove English Communication I (文英堂) | 副教材等 | ・同教科書準拠ワークブック ・ターゲット1400 (旺文社) ・総合英語FACTBOOK (桐原書店) |

1 学習の到達目標

・日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手・書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
・日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話したり書いたりして伝え合ったりすることができる。

2 学習の計画

第1学期学習指導計画

| 月 | 育成する資質能力 (CAN-DO記述) | 学習項目 (教材名等) | 学習内容や学習活動 (言語活動等) | 評価の観点 | 領域 | | | | | 評価項目数 | 主な評価規準 (評価方法) |
|----------|--|---|---|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------|---|
| | | | | | 聞 | 読 | 取 | 発 | 書 | | |
| 4 | 日英のあいさつや日常表現の使い方の違いや注意すべき点などを理解して、考えを深めることができる。 | Lesson 1 Communication with People Around the World | ・主語と述部/「S+V」「S+V+C」「S+V+O」/現在・過去・未来を理解する。 ・海外の人とよいコミュニケーションをとるために、あいさつや日常表現の大切さや気をつけるべきことについて、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「やり取り」を通して、情報や意見を交換してまとめ、「話す(発表する)」。 | 知 思 態 | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | 15 | 授業観察 発話評価 課題提出 小テスト |
| 5 | ペットと人間の関係やペットの役割が時代とともに変化していることを理解して、考えを深めることができる。 | Lesson 2 Pets and Humans: Together Through Time | ・名詞句/to不定詞(名詞的用法)/動名詞を理解する。 ・ペットと人間の関係の変化やペットの役割が将来どうなっていくのかについて、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「やり取り」を通して、情報や意見を交換してまとめ、「話す(発表する)」。 | 知 思 態 | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | 15 | 授業観察 発話評価 課題提出 小テスト |
| 中間 考查 | 中間考查 | | | 知 思 態 | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | 9 | リスニング力を評価する複合問題 リーディング力を評価する複合問題 ライティング力を評価する複合問題 |
| 6 | 日本の手工芸と結びの文化について、理解して考えを深めることができる。 | Lesson 3 Musubi-Ties and Knots | ・「S+V+01+02」/「S+V+0+C」/進行形を理解する。 ・日本では結び方や結び目に特別な意味や思いがこめられていることについて、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「やり取り」を通して、情報や意見を交換してまとめ、「話す(発表する)」。 | 知 思 態 | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | 15 | 授業観察 発話評価 課題提出 小テスト |
| 7 | キノコの効用や意義について、理解して考えを深めることができる。 | Lesson 4 The power of Mushrooms | ・現在完了形/過去完了形/「S+V+0(=that節)」を理解する。 ・森の生態系を守るためにキノコが果たしている重要な役割について、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「やり取り」を通して、情報や意見を交換してまとめ、「話す(発表する)」。 | 知 思 態 | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | 15 | 授業観察 発話評価 課題提出 小テスト |
| 期末 考查 | 期末考查 | | | 知 思 態 | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | 9 | リスニング力を評価する複合問題 リーディング力を評価する複合問題 ライティング力を評価する複合問題 |

第2学期学習指導計画

| 月 | 育成する資質能力 (CAN-DO記述) | 学習項目 (教材名等) | 学習内容や学習活動 (言語活動等) | 評価の観点 | 領域 | | | | | 評価項目数 | 主な評価規準 (評価方法) |
|----|---|---|---|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------|------------------------------|
| | | | | | 聞 | 読 | 取 | 発 | 書 | | |
| 9 | 点字のなりたちや歴史について、理解して考えを深めることができる。 | Lesson 5 Braille Neue: Connecting Dots with Lines | ・受け身/分詞の形容詞的用法/助動詞を含む受け身/to不定詞(形容詞的用法)を理解する。 ・誰もが読むことのできる新しい点字の意義や可能性と視覚障がいを持つ人たちのコミュニケーションについて、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「やり取り」を通して、情報や意見を交換してまとめ、「話す(発表する)」。 | 知 思 態 | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | 15 | 授業観察 発話評価 課題提出 小テスト |
| 10 | フードテックがもたらすフェイクフードや代替肉の利点や問題点について、理解して考えを深めることができる。 | Lesson 6 Is This Meat Real or Fake? | ・関係代名詞(主格)/to不定詞(副詞的用法)/関係代名詞(目的格)/関係代名詞whatを理解する。 ・フェイクフードや代替肉と食糧問題や環境問題との関わりについて、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「やり取り」を通して、情報や意見を交換してまとめ、「話す(発表する)」。 | 知 思 態 | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | 15 | 授業観察 発話評価 課題提出 小テスト |

| | | | | | | | | | | | |
|--------------|---|--|--|---|---|---|---|---|---|----|---|
| 中間 考査 | 中間考査 | | | 知 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 9 | リスニング力を評価する複合問題 リーディング力を評価する複合問題 ライティング力を評価する複合問題 |
| | | | | 思 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | | 態 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 11 | 海洋プラスチックや食品ロスなどの環境問題や食糧問題について、理解して考えを深めることができる。 | Lesson 7 Plastic Polluting Our Oceans | ・比較/「It is+~(for~)+to不定詞」/「S+V+01+02(that節)」/「S+V+0(=疑問詞節など)」/「S+V+0+to 不定詞」を理解する。 ・プラスチックごみが海洋生物の命や生態系をも危険にさらしていることについて、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「やり取り」を通して、情報や意見を交換してまとめ、「話す(発表する)」。 | 知 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 15 | 授業観察 発話評価 課題提出 小テスト |
| | | | | 思 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | | 態 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 12 | 日本の代表的なポップカルチャーであるマンガについて、理解して考えを深めることができる。 | Lesson 8 Manga: A Global Hit! | ・「S+V+0+C(=原形不定詞)」/「It+is+形容詞[名詞]+that節」/「S+V+0(=疑問使節など)」/「S+V+0+C(=現在分詞)」を理解する。 ・世界的なマンガ人気の理由について、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「やり取り」を通して、情報や意見を交換してまとめ、「話す(発表する)」。 | 知 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 15 | 授業観察 発話評価 課題提出 小テスト |
| | | | | 思 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | | 態 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 期 末 考査 | 期末考査 | | | 知 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 9 | リスニング力を評価する複合問題 リーディング力を評価する複合問題 ライティング力を評価する複合問題 |
| | | | | 思 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | | 態 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |

第3学期学習指導計画

| 月 | 育成する資質能力 (CAN-DO記述) | 学習項目 (教材名等) | 学習内容や学習活動 (言語活動等) | 評価の 観点 | 領域 | | | | | 評価 項目 数 | 主な評価規準 (評価方法) |
|-----------------------|---|--|--|-----------|----|---|---|---|---|---------------|---|
| | | | | | 聞 | 読 | 取 | 発 | 書 | | |
| 1 | ペトラ遺跡が有名になった経緯とペトラの盛衰の歴史について、理解して考えを深めることができる。 | Lesson 9 The Mysteries and Secrets of Petra | ・関係副詞(when, where)/関係副詞(why, how)/仮定法過去/完了進行形を理解する。 ・ペトラ遺跡の謎とそれが考古学の新しいアプローチにより解明されるかもしれないことについて、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「やり取り」を通して、情報や意見を交換してまとめ、「話す(発表する)」。 | 知 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 15 | 授業観察 発話評価 課題提出 小テスト |
| | | | | 思 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | | 態 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 2 3 | 環境活動家グreta・トゥーンベリさんの行動や主張について、理解して考えを深めることができる。 | Lesson 10 Greta Thunberg: No One Is Too Small to Make a Difference | ・仮定法過去完了/強調構文/分詞構文/「S+V+01+02(=疑問使節など)」を理解する。 ・地球温暖化や環境破壊の問題を解決するためにできることについて、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「やり取り」を通して、情報や意見を交換してまとめ、「話す(発表する)」。 | 知 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 15 | 授業観察 発話評価 課題提出 小テスト |
| | | | | 思 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | | 態 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 学 年 末 考 査 | 学年末考査 | | | 知 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 9 | リスニング力を評価する複合問題 リーディング力を評価する複合問題 ライティング力を評価する複合問題 |
| | | | | 思 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | | | 態 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |

| 評価の観点 | 聞くこと | 読むこと | 話すこと (やり取り) | 話すこと (発表) | 書くこと |
|---------------------------|---|---|--|--|--|
| 知識・ 技能 | 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解をもとに、読まれた音声の内容を聞き取る技能を身につけている。 | 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解をもとに、書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。 | 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解をもとに、情報や自分の考えを即興で話して伝え合うやり取りを続ける技能を身につけている。 | 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解をもとに、情報や自分の考えを論理性に注意して話して伝える技能を身につけている。 | 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解をもとに、情報や自分の考えをまとめ、論理性に注意して書いて伝える技能を身につけている。 |
| 思考・ 判断・ 表現 | 情報や自分の考えをまとめるために、日常的话题や社会的な話題について必要な情報を聞き取り、読み手の意図、概要や要点を把握している。 | 情報や自分の考えをまとめるために、日常的话题や社会的な話題について必要な情報を聞き取り、書き手の意図、概要や要点を把握している。 | 日常的话题や社会的な話題について、情報や自分の考えを即興で話して伝え合うやり取りを続けている。 | 日常的话题や社会的な話題について、情報や自分の考えを論理性に注意して話して伝えている。 | 日常的话题や社会的な話題について、情報や自分の考えをまとめ、論理性に注意して書いて伝えている。 |
| 主体的に 学習に 取り組む 態度 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、情報や自分の考えをまとめるために、日常的话题や社会的な話題について必要な情報を聞き取り、読み手の意図、概要や要点を把握しようとしている。 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、情報や自分の考えをまとめるために、日常的话题や社会的な話題について必要な情報を聞き取り、書き手の意図、概要や要点を把握しようとしている。 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、日常的话题や社会的な話題について、情報や自分の考えを即興で話して伝え合うやり取りを続けようとしている。 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、日常的话题や社会的な話題について、情報や自分の考えを論理性に注意して話して伝えようとしている。 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、日常的话题や社会的な話題について、情報や自分の考えをまとめ、論理性に注意して書いて伝えようとしている。 |

| | |
|-------|--------------------------|
| 評価の方法 | 授業観察、発話評価、課題提出、小テスト・定期考査 |
|-------|--------------------------|

| | |
|--|--|
| 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など) | この科目では、日常的话题や社会的な話題について、ペアやグループで活動しながら英文を聞いたり、読んだり、話したり、そして書いたりしていきます。英語は言語なので、「繰り返し」「チャレンジ」することが大切です。完璧である必要はないので、間違いを恐れず、仲間と楽しく「コミュニケーション」をとりながら、積極的に授業に参加しましょう。 |
|--|--|

令和4年度 外国語科「論理・表現 I」シラバス

| | | | |
|-----|------------------|----------|--------------------------------------|
| 単位数 | 2単位 | 学科・学年・学級 | 普通科 1年 1～6組 |
| 教科書 | Harmony (いいずな書店) | 副教材等 | Workbook (いいずな書店) FACTBOOK (桐原書店) |

1 学習の到達目標

「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。

2 学習の計画

| 第1学期学習指導計画 | | | | | | | | | | | |
|------------|--|-----------------------------|-------------------------------|-------------|----|---|---|---|---|-------|---|
| 月 | 育成する資質能力 (CAN-DO記述) | 学習項目 (教材名等) | 学習内容や学習活動 (言語活動等) | 評価の観点 | 領域 | | | | | 評価項目数 | 主な評価規準 (評価方法) |
| | | | | | 聞 | 読 | 取 | 発 | 書 | | |
| 4 | 自分や身近な人のことについて話したり書いたりすることができる。 | Lesson 1 Meeting People | 現在形や現在進行形を正しく用いて表現する。 | 知 思 態 | | | ○ | ○ | ○ | 9 | 授業観察 発話評価 課題提出 |
| | 休日にしたことについて話したり書いたりすることができる。 | Lesson 2 Last Weekend | 過去形や過去進行形を正しく用いて表現する。 | 知 思 態 | | | ○ | ○ | ○ | 9 | 授業観察 発話評価 課題提出 |
| 5 | 現在完了形を正しく用いて表現することができる。 | Lesson 3 Weekend Plans | 未来の表現を正しく用いて表現する。 | 知 思 態 | | | ○ | ○ | ○ | 9 | 授業観察 発話評価 課題提出 |
| | 自分の予定について話したり書いたりする。 | Lesson 4 A Short Trip | したことがあること・ないことについて話したり書いたりする。 | 知 思 態 | | | ○ | ○ | ○ | 9 | 授業観察 発話評価 課題提出 |
| 中間 考査 | 中間考査 | | | 知 思 態 | ○ | ○ | | | | 9 | リスニング力を評価する複合問題 リーディング力を評価する複合問題 ライティング力を評価する複合問題 |
| 6 | してもよいこと・してはいけないことについて話したり書いたりすることができる。 | Lesson 5 School Rules | 可能や義務などを表す助動詞を正しく用いて表現する。 | 知 思 態 | | | ○ | ○ | ○ | 9 | 授業観察 発話評価 課題提出 |
| | 出来事について話したり書いたりすることができる。 | Lesson 6 Are You All Right? | 推量などを表す助動詞を正しく用いて表現する。 | 知 思 態 | | | ○ | ○ | ○ | 9 | 授業観察 発話評価 課題提出 |
| 7 | 日本のものを紹介することについて話したり書いたりすることができる。 | Lesson 7 Things Japanese | 受動態を正しく用いて表現する。 | 知 態 態 | | | ○ | ○ | ○ | 9 | 授業観察 発話評価 課題提出 |
| 期末 考査 | 期末考査 | | | 知 思 態 | ○ | ○ | | | | 9 | リスニング力を評価する複合問題 リーディング力を評価する複合問題 ライティング力を評価する複合問題 |

| 第2学期学習指導計画 | | | | | | | | | | | |
|------------|--|-------------------------------|--------------------------|-------------|----|---|---|---|---|-------|----------------------|
| 月 | 育成する資質能力 (CAN-DO記述) | 学習項目 (教材名等) | 学習内容や学習活動 (言語活動等) | 評価の観点 | 領域 | | | | | 評価項目数 | 主な評価規準 (評価方法) |
| | | | | | 聞 | 読 | 取 | 発 | 書 | | |
| 9 | 将来の夢について話したり書いたりすることができる。 | Lesson 8 Talking About Dreams | 不定詞の名詞用法を正しく用いて表す。 | 知 思 態 | | | ○ | ○ | ○ | 9 | 授業観察 発話評価 課題提出 |
| | 健康維持について話したり書いたりすることができる。 | Lesson 9 To Keep Fit | 不定詞の形容詞・副詞用法を正しく用いて表現する。 | 知 思 態 | | | ○ | ○ | ○ | 9 | 授業観察 発話評価 課題提出 |
| 10 | あるもの・人によって可能になることについて話したり書いたりすることができる。 | Lesson10 Our Future Devicwes | 使役動詞・知覚動詞などを正しく用いて表現する。 | 知 思 態 | | | ○ | ○ | ○ | 9 | 授業観察 発話評価 課題提出 |

| | | | | | | | | | |
|----------|---------------------------------|-----------------------------|---------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---|---|
| 10 | 自分の趣味について話したり書いたりすることができる。 | Lesson11 Likes and Dislikes | 動名詞を正しく用いて表現する。 | 知 思 態 | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | 9 | 授業観察 発話評価 課題提出 |
| 中間 考査 | 中間考査 | | | 知 思 態 | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | 9 | リスニング力を評価する複合問題 リーディング力を評価する複合問題 ライティング力を評価する複合問題 |
| 11 | 分詞を正しく用いて表現することができる。 | Lesson12 Something Unusual | 変わった生き物などについて話したり書いたりする。 | 知 思 態 | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | 9 | 授業観察 発話評価 課題提出 |
| | 動詞+名詞+分詞,分詞構文を正しく用いて表現することができる。 | Lesson13 Being in Trouble | トラブルの相談について話したり書いたりする。 | 知 思 態 | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | 9 | 授業観察 発話評価 課題提出 |
| 12 | 関係代名詞を正しく用いて表現することができる。 | Lesson14 Great Achievement | 有名人や、彼らの功績について話したり書いたりする。 | 知 思 態 | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | 9 | 授業観察 発話評価 課題提出 |
| 期末 考査 | 期末考査 | | | 知 思 態 | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | 9 | リスニング力を評価する複合問題 リーディング力を評価する複合問題 ライティング力を評価する複合問題 |

第3学期学習指導計画

| 月 | 育成する資質能力 (CAN-DO記述) | 学習項目 (教材名等) | 学習内容や学習活動 (言語活動等) | 評価の 観点 | 領域 | | | | | 評価 項目 数 | 主な評価基準 (評価方法) |
|-------------------|------------------------|-------------------------|--------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---|---|------------------|
| | | | | | 聞 | 読 | 取 | 発 | 書 | | |
| 1 | 関係副詞を正しく用いて表現することができる。 | Lesson15 What's SDGs? | 時や場所について話したり書いたりする。 | 知 思 態 | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | 9 | 授業観察 発話評価 課題提出 | |
| | 比較表現を正しく用いて表現することができる。 | Lesson16 Climate Change | データや都市の比較について話したり書いたりする。 | 知 思 態 | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | 9 | 授業観察 発話評価 課題提出 | |
| 2 | 最上級を正しく用いて表現することができる。 | Lesson17 Food Waste | 社会問題について話したり書いたりする。 | 知 思 態 | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | 9 | 授業観察 発話評価 課題提出 | |
| 3 | 仮定法を正しく用いて表現することができる。 | Lesson18 Water Problem | 違う人の立場に立って話したり書いたりする。 | 知 思 態 | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | 9 | 授業観察 発話評価 課題提出 | |
| 学年 末 考 査 | 学年末考査 | | | 知 思 態 | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | 9 | リスニング力を評価する複合問題 リーディング力を評価する複合問題 ライティング力を評価する複合問題 | |

| 評価の観点 | 聞くこと | 読むこと | 話すこと (やり取り) | 話すこと (発表) | 書くこと |
|---------------------------|------|------|---|--|--|
| 知識・ 技能 | | | 事柄や話題について、内容を理解して相手に伝えたり、質問に答えることができる。 | アイコンタクトやジェスチャーを交えながら、自ら進んで概要を話すことができる。 | 学習内容を正しく用いて、書く技能を身に付けることができる。 |
| 思考・ 判断・ 表現 | | | モデル会話の人物になりきってその場面に合う内容を話すことができる。 | 他の人に伝えるために、論理性に注意して詳しく話すことができる。 | 他の人に伝えるために、論理性に注意して詳しく書くことができる。 |
| 主体的に 学習に 取り組む 態度 | | | ペアやグループになって自分のことを話したり、他の人の質問に答えることができる。 | 他の人に伝えるために、写真や絵を見て自ら進んで概要を話すことができる。 | 読み手のことを考え、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、文章を書くことができる。 |

| | |
|-------|---|
| 評価の方法 | 定期考査の成績、授業内の取り組み、課題の提出状況、自己評価等を各観点・領域毎に総合的に評価します。 |
|-------|---|

| | |
|--|--|
| 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など) | 授業では積極的にペアワークやグループワークに参加すること。多少のミスは恐れず、話し方や顔の表情、仕草などを工夫して自分の考えや気持ちを相手に伝えることが必要です。また、他の人への関心や思いやりを持ってコミュニケーションに臨んでください。 |
|--|--|